

JIL 常任委員会記録②＜要点抽出版＞

2018 年 10 月 3 日 10:00～

出 席:平下, 今村, 中西, 中尾, 秋山, 河本, 和田, 井谷, 安原, 藤原, 笠原

事務局:山本, 香村, 森, 盛上, 嶋村, 富川

欠 席:佐藤

1. 「介護保険と重度訪問介護の自己選択的利用について」中西さんからの提案と承認

● 決定事項

- 文章を JIL-ML で配信することに決定。
- JIL は介護保険統合反対。重度訪問は「障害特有のサービスだから」そのままの形として残すことを方針とする。

● 質疑応答

Q:選択制について確認です。JIL 加盟団体がどれだけ介護保険を利用したいと見込まれますか？また JIL の運動方針としてこの文章を出していきますか？私は、重度訪問を変え遺族発展という方向は絶対大事だと考えるので、是非とも残したい。運動方針としてこの文章を出していくのであれば、それを一致して打ち立てていくことが大事だと思う。

A:共生型は既にスタートしているから、後戻りさせて障害者だけ重度訪問、というと、地方では重訪をやっていない事業所が多いから、身体介助や家事援助で使えないという話になる。それと一般事業所はお金儲けをしたいから、共生型を求めます。一般事業所にも重度訪問を広めるためには、どこかで妥協しないといけない。(国に)お金がなくなって、市町村に全部投げられたときに、JIL が全部引き受けるのか、それとも他事業所とも一緒にやっていくのか、という話。でも CIL だけで介助制度をやるのではなくて、競争原理を働かせていく方がいい。本当は重度訪問だけでいけると安心なのですが。だから最終的には、厚労省が「選択制です」という指示書を出してくればそれでいいと思います。

Q:介護保険という大きな枠組みの中に、重度訪問が残るような方向性ですか？

A:介護保険の基礎部分に加入させられると、その上に重度訪問をつくっても土台から崩される。介護保険はこれからどんどんお金がなくなるから信用できない。介護保険を基礎にもってこられるのは、私は反対なので、全部国税で重度訪問をやってくれと言いつけるのが良いと思います。

Q:「介護保険の時間数を少し増やすから、介護保険の契約をしてよ」と行政からいわれることがしばしばあります。それで本人も「時間数が増えるならいいや」といって契約してしまう。

A:国の指示で「基本的に介護保険」で、と言われて、あたかも強制されているみたいに言うんだよね。危険な制度だから、騙されて乗らないことだね。2050 年になれば団塊が減ってい

って、高齢人口が減るから、そうすると介護保険のお金が余る可能性はある。そこまで運動は切り抜けなければダメ。あと30年ね。

2. DPI 報告

- 資料参照

3. 会費について

- 決定事項

- DPI との金銭の関係については、公開をしない。(外部への情報漏洩を避ける)
- 12 月セミナーでは、「DPI と JIL で協議しています。時間をもらったうえで、来年の総会で回答します」と加盟団体へ向けて説明をする。書面は出さない。
- 「DPI にお金が出ている・流している」という表現はしない。

- 確認事項

- JIL が DPI を支援する理由としては以下の理由を挙げられる。
 1. JIL はサービス提供事業体なので、主張をすると自分たちの利益誘導だととられかねない。このため直接の政策提言は DPI が行う方が有利。
 2. DPI は障害分野全てをカバーしている。JIL は地元の活動と直接支援にノウハウがある。このためサポートし合うことが肝要。
 3. 長期的展望をもって権利擁護を続けていくためには、お互いが必要。
- 会費減免基準の策定については継続審議。

4. 大濱さんより

- 資料参照

- 決定事項

- 10 月 24 日(水)LGBT 生産性問題集会@衆議院議員会館
- 11 月 7 日(水)尊厳死法制化反対集会@参議院議員会館 1F 講堂

5. JIL の方針②

- 決定事項

- 目指すものの中に「差別」、「自立生活」、「どんな障害があっても」ということばを入れる。
- 山本奈緒子さんを中心に再構成をする。提案のある方は事務局へ提出を。
- 最終決定をする前に、加盟団体に内容についてお伺いを立てる場をつくる。

6. ワールドカフェのコマについて

- 確認事項

- ワールドカフェのテーマとして、「どんな研修をやってほしいか」、「各団体は何に困っているのか」、「JIL は何を期待されているか」を障害者も健常者も交えて聞いてほしい。